

なからぎ

204号

2014年1月

リウリイチャー

琉璃廠の焼イモ屋

学長 渡辺 信一郎

夜来、二度目の木枯しが吹いて、図書館の西南方にあるイチョウの葉が数えるほどになった。むき出しになって、朝の陽光をはね返している枝を見あげると、ふと17年前の北京の冬空を思い出した。

1997年1月初めから10月初めまで、私は、中国社会科学院経済研究所の受け入れで、学術振興会の派遣研究員として仕事に従事した。北京滞在は初めてだった。研究は別にして、楽しみにしていたのは、琉璃廠の古書店・書店をゆっくりあさることである。

北京に到着して早々の1月9日、朝食の後、地図をたよりにバスに乗って琉璃廠を訪ねた。琉璃廠は、十字路を境に東街と西街に分かれている。探検してみると、書画骨董をあつかう店にまじって、古書を置いている書舗が七店ほど見つかった。

西街の中国書店から出たところで、お腹が空いていることに気がついた。思案しているところへ、自転車の荷台にドラム缶を積んだ焼イモ屋（^{カオバイシユ}烤白薯）がとおりにかかった。「唉」と呼びとめて「^{イイグ}一個」と注文する。その男は、怪訝そうな顔をして秤にかけ、「^{イイクアイチユ}1塊9（29円）」といった。私は、不覚にも財布から2元を出した。男は、「^{スークア}4塊（4元、60円）」といいなおした。そこから、なけなしの中国語を総動員しての、蝸牛角上の争いとなった。

人がどんどん集まってきて、自転車のまわりを好奇の眼がとりまく。多勢に無勢とあきらめ、私は2元を添えた。中国語会話の授業料だと思ひ直し、人の退いた道の真中で、焼イモをほおぼりながら、靴底から冷えあがってくる寒さに耐えて、あれこれ話を続けた。

5日まえに日本から来たばかりだというと、ハエンという顔つきをした。鄭州から来たというその男は、おそらく農民で、よくみると意外に若い。30代前半であろう。男のなまりがきついのと私の漢語能力のせいもあって、会話が成立していたかどうか、あやしい。20分ほどねばって「会話」をしていると、昼休みの小学生が数人やってきて、焼イモを注文した。「売完了（売り切れた）」と追いつ返し、男は自転車に乗ると、私を残して、東街の方に消えていった。

私は、その後二週間に一度の割合で琉璃廠を訪れ、木版刷りの唐本を買いあつめた。その焼イモ屋にも時おり出会い、手をあげて挨拶する仲になった。4月にはいると、故郷に帰ったらしく、見かけなくなった。7月の末に再び会ったときは、中国書店の前で店をひろげ、東北から仕入れたという果物を売っていた。名前のわからないその果物をさしだし、食べろとすすめる。その果物は、独特の香りがし、みずみずしくのどをとおった。

北京で買った唐本は、清末から民国初にかけて出版されたものが多い。校訂・注釈に定評があり、字様の大きいものを優先した。老眼が順調に進み、夕方になると視野がかすんでくる今の私にとって、字の大きい唐本はかけがえのない研究の伴侶である。唐本を手にとると琉璃廠を思い出し、かすむ版面のなかに焼イモ屋の光景が、時に浮かんでくる。その後、北京には何度も行き、琉璃廠にも出向いた。けれど、その焼イモ屋を見かけたのは、97年の夏が最後となった。

(わたなべ しんいちろう)

新薬発見の栄光と影の努力

図書館運営委員 岡 真優子

私が子供の頃、人物記が流行っていたのでしょうか、多くの有名人の功績や苦勞話について読みました。特に私の心に残っているのは、野口英世やヘレンケラーと言った、努力して苦難を乗り越え、そして世のために活躍した人たちです。そんな著名人の影響を受けたのか、病気で苦しむ人を救う仕事につきたいという漠然とした将来の希望を描くようになり、現在では研究の道を進んでいます。大学生時代を振り返ると、私は、薬理学、微生物学や分子医化学などといった病気の発症機構や薬の作用機序に関する学問が好きでした。頭痛時に飲む痛み止め（非ステロイド性抗炎症薬）は、炎症時に発現するシクロオキシゲナーゼ-2 酵素の阻害剤ですが、この酵素は、痛みや発熱を誘発する数種の物質をアラキドン酸から産生します。しかし、この酵素とアミノ酸配列のよく似たシクロオキシゲナーゼ-1 酵素は、常に発現して胃の粘膜を保護する物質を産生しています。痛み止めを飲んだときに胃が痛くなるのは、前者だけでなく後者の酵素まで阻害したために、引き起こされる副作用だったことを知り、薬について益々興味を持つようになりました。私が薬理学を熱心に勉強したのも非ステロイド性抗炎症薬のお世話によくなっていたからかも知れません。また、微生物学の講義では、細菌によって引き起こされる感染症に加え、その治療に用いられる抗生物質の構造や作用機構にもおもしろみを感じていました。たとえば、1928年にイギリスのアレクサンダー・フレミングは、黄色ブドウ球菌を培養した培地に偶然はえた青カビ (*Penicillium notatum*) の周囲にだけブドウ球菌が増殖していないことを見つけ、これは世界で最初の抗生物質のペ

ニシリンの発見に繋がります。抗生物質は、微生物が他の微生物から身を守るために分泌する物質で、その作用機構は様々です。ペニシリンは、ヒトの細胞に存在しない細胞壁を標的とすることから副作用がほとんどなく優秀な薬です。しかし残念なことに、ペニシリンが標的とする微生物は限定されており（狭い抗菌スペクトラム）、病原性の強い大腸菌など比較的細胞壁の薄い細菌（グラム陰性菌）には全く無効でした。そのためにペニシリンの発見以降、土壤中の放線菌（細菌に分類）から細菌の DNA 合成、RNA 合成、またはタンパク質合成を標的とした多くの抗生物質が見つかっています。現在、菌の DNA 合成を阻害する薬（ニューキノロン系）が強い抗菌効果のために汎用されています。ニューキノロンは、菌が産生する抗生物質を基に新しく人工的に合成されたもので、これまでの抗生物質よりも広い抗菌スペクトラムと高い殺菌作用を持つ薬です。この使用頻度は、欧米に比べ日本で高いのですが、それは、日本人によって発見されたためです。発見者の早川さんが、1973年頃から開発を開始し、1993年にクラビット（成分名：レボフロキサシン）として発売が開始されるまで、20年もの長い年月が必要でした。この間、1000あまりの化合物が合成され、多くは急性毒性や体内での代謝に問題があり脱落したようです。薬の開発において20年は特に長いわけではないのですが、私を驚かせたのは、1985年に発売されたタリビット（成分名：オフロキサシン）が上市され世界的に高い評価を受ける物であったにもかかわらず、さらに「ポスト・タリビット」を見据えて、研究が進められたことです。そしてタリビットが、S 体と R 体

という 2 つの光学異性体 (鏡で映したときにみられる鏡像体) からなることに着目し、S 体の分離に成功したのですが、驚いたことに分離された S 体は、タリビット (S 体と R 体を等量含むラセミ体) に比べ 2 倍高い抗菌活性をもっており、かつ安全であることが確かめられました。(ブルーバックス『新薬に挑んだ日本人科学者たち』より)。この薬はクラビット (成分名: レボフロキサシン) として、皮膚感染症、呼吸器感染症、泌尿器感染症、婦人科感染症、眼科感染症、耳鼻科感染症、歯科感染症など広い範囲の感染症の治療に使用されています。今回紹介した著書は、2013 年 9 月に発売された最新の本なので、私がちょうど研修生をしていた頃に市販された比較的新しい薬が紹介されており、身近に感じながら楽しく読みました。他にもノーベル賞候補とも言われる (2008 年ラスカー賞受賞) 血液中のコレステロールを下げる薬 (スタチン) の開発なども紹介されています。子供の頃に読みふけた努力する人たちの物語を思い出し、勇気と希望であふれていた頃を少し思い出しました。

さて、薬の発見には光と影の物語があることをご存じでしょうか。私は結核 (症) の研究を通じて恩師から『世紀の新薬発見その光と影の物語 (Finding dr. schatz)』(インゲ・アウワーバッハー、アルバート・シャッツ 著、橋本浩明 訳) を紹介して頂きました。結核の治療薬ストレプトマイシンの発見秘話についてのものです。光とは、1952 年 10 月「ストレプトマイシンの発見」を功績としてノーベル生理学・医学賞をセルマン・A・ワックスマンが単独で受賞した栄光であり、影とは本来功績をたたえられるべき真の発見者アルバート・シャッツのことです。大学院生の頃、シャッツ博士は、身も心も研究に打ち込み、何百種類もの放線菌類をテストし、日の出から真夜中まで長時間働き、菌の培養に使用する試薬や器具を自分で消毒し、研究

室のベンチで寝たときの方が多い、と言う生活を送っていました。そんな努力によって、ペニシリンが無効であったグラム陰性菌に有効で、また結核菌の増殖を抑制するストレプトマイシンを発見したのです。そのときの教授が、ワックスマン博士でした。当時の結核は、治療できる魔法の薬がなく、ベッドでの安静療法しかない時代です。たとえ未発症であっても結核菌感染に陽性を示すと、進学や結婚が破談になりました。また専門家は、結核菌が胃酸の中で生きてると誤解しており、胃の中へゴムチューブを挿入して胃液を採取して菌を検出していました (本当は肺の免疫細胞に感染していて、現在は喀痰を採取して菌を検出する)。ワックスマン博士は、結核を恐れ、これに効く抗生物質など見つかるはずがないと考えていたのです。ところが、シャッツ博士がストレプトマイシンを見つけたにもかかわらず、ワックスマン博士が一人でノーベル賞を受賞した経緯を考えれば、ワックスマン博士の心の変化を想像できるのではないのでしょうか。

2011 年の日本薬局方に掲載されている薬 (世の中で使用されている薬) は、1764 品目あります。それぞれの薬に光と影の物語があるのだと思います。そしてストレプトマイシン発見の努力のおかげで、戦後、結核蔓延国 (10 万人あたり 700 人とも言われる) であった日本は、2011 年に 10 万人あたり 17.7 人となり、ようやく日本以外の先進国と同じように低蔓延国 (10 万人当たり 10 人以下) の仲間入りする日が近づいてきました。しかし、ニューキノロン耐性の超多剤耐性結核菌の出現などによって、まだまだヒトと結核菌の攻防は続きます。この難題を努力によって解決する人の現れることが楽しみです。

(おか まゆこ

: 生命環境科学研究科准教授)

御紹介の『新薬に挑んだ日本人科学者たち: 世界の患者を救った創薬の物語』(請求記号 499.1 || T)、『世紀の新薬発見その光と影の物語』(請求記号 499.1 || A) を 2 階閲覧室入口に配架していますので御利用ください。



府大生の読書傾向

～ 2011・2012・2013 ～

新しい年が始まりました。
 本学ではどんな本が読まれているのでしょうか？
 そこで、よく読まれている本のタイトルを1月から12月という暦と同じ区切りで集計しました。
 ここ数年お知らせできていなかったのですが、3年分まとめて掲載します。

表 1 2013年

順位	タイトル/著者	請求記号 ()以外の 所在は開架
1	空飛ぶ広報室/有川浩著	913.6 A
2	蒙求 上 (新釈漢文大系: 58, 59)/[後晋・李瀚原著]/早川光三郎著	082 S 58
3	ナミヤ雑貨店の奇蹟/東野圭吾著	913.6 H
4	ディズニーの魔法 (新潮新書: 044)/有馬哲夫著	778.77 A
5	植物図鑑/有川浩著	913.6 A
6	蒙求 下 (新釈漢文大系: 58, 59)/[後晋・李瀚原著]/早川光三郎著	082 S 59
7	嘘をもうひとつだけ (講談社文庫: [ひ-17-24])/東野圭吾[著]	913.6 H
8	きらきらひかる (新潮文庫: え-10-1)/江國香織著	913.6 E
9	県庁おもてなし課/有川浩著	913.6 A
9	三匹のおっさんふたたび/有川浩著	913.6 A
9	ストロベリーナイト (光文社文庫: [ほ-4-1])/誉田哲也著	913.6 H
9	眠りの森 (講談社文庫: [ひ-17-7])/東野圭吾著	913.6 H
9	何者/朝井リョウ著	913.6 A
9	虚像の道化師 (ガリレオ: 7)/東野圭吾著	913.6 H
15	図書館戦争/有川浩著/徒花スクモイラスト	913.6 A
16	竹取物語/伊勢物語/大和物語/平中物語 (新編日本古典文学全集: 12)/片桐洋一校注・訳/福井貞助校注・訳/高橋正治校注・訳/清水好子校注・訳	918 S 12
17	クジラの彼/有川浩著	913.6 A
17	食堂かたつむり (ポプラ文庫: お5-1)/小川糸著	913.6 O
17	舟を編む/三浦しをん著	913.6 M
17	菓子さんと奇妙な客人たち (メディアワークス文庫: 0078. ビブリア古書堂の事件手帖: [1])/三上延[著]	913.6 M
21	はじめよう! 統計学超入門 (知識ゼロでもわかる統計学)/松原望著	417 M
22	ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学 (ファーストブック. 統計学がわかる)/向後千春, 富永敦子著	417 K
23	分析化学 改訂版 (基礎化学選書: 2)/長島弘三, 富田功著	433 N
24	日本的雇用慣行の経済学: 労働市場の流動化と日本経済/八代尚宏著	366.21 Y
24	ゲート1 (世界文学大系: 19, 20)/大山定一[ほか]訳	908 S 19 (1階書庫)
26	「新釈」走れメロス: 他四篇/森見登美彦著	913.6 M
26	四畳半神話大系/森見登美彦著	913.6 M
26	探偵ガリレオ (文春文庫: [ひ-13-2])/東野圭吾著	913.6 H
26	予知夢 (文春文庫: [ひ-13-3])/東野圭吾著	913.6 H
26	阪急電車/有川浩著	913.6 A

順位	タイトル/著者	請求記号 ()以外の 所在は開架
26	本当は恐ろしいグリム童話[1](ワニ文庫)/桐生操著	913.6 K 1
26	左京区恋月橋渡ル/瀧羽麻子著	913.6 T
26	どちらかが彼女を殺した (講談社文庫)/東野圭吾[著]	913.6 H
26	禁断の魔術 (ガリレオ: 8)/東野圭吾著	913.6 H
35	ホートン生化学 第4版/H.Robert Horton[ほか]著/榎森康文, 川崎博史, 宗川惇子訳	464 H
35	有機化学演習: 基本から大学院入試まで/山本学, 伊与田正彦, 豊田真司著	437 Y
35	アトキンス物理化学 第8版 上/Peter Atkins, Julio de Paula 著/千原秀昭, 中村亘男訳	431 A 1
35	インビジブルレイン (光文社文庫: ほ4-7)/誉田哲也著	913.6 H
35	ab さんご/黒田夏子著	913.6 K
35	事件 (ソロモンの偽証: 第1部)/宮部みゆき著	913.6 M 1
35	ノルウェイの森 上/村上春樹著	913.6 M 1
42	銃・病原菌・鉄: 一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎 上/ジャレド・ダイアモンド著/倉骨彰訳	204 D 1
42	物質のエネルギー論 (新・演習物質科学ライブラリ: 3. 基礎物理化学演習: 2)/山内淳著	431 Y 2
42	御伽草子 (日本古典文学大系: 38)/市古貞次校注	918 N 38
45	線形代数編 (理系なら知っておきたい数学の基本ノート)/大竹真一著	411.3 O
45	アイスクリームで味わう、/向後千春, 富永敦子著	417 K
47	総則・物権 第6版 (別冊ジュリスト: no. 195. 民法判例百選: 1)/	324.098 N 1
47	犬の日本史: 人間とともに歩んだ一万年の物語 (読みなおす日本史)/谷口研語著	645.6 T
49	民法基本判例集 第3版/遠藤浩, 川井健編	324.098 E
50	宵山万華鏡/森見登美彦著	913.6 M
50	桐島、部活やめるってよ/朝井リョウ著	913.6 A
50	細胞生物学・遺伝学編 (理系なら知っておきたい生物の基本ノート)/伊藤和修著	460 R 2
50	鍵のない夢を見る/辻村深月著	913.6 T
50	卒業: 雪月花殺人ゲーム (講談社文庫: [ひ-17-2])/東野圭吾[著]	913.6 H
50	きみはポラリス (新潮文庫: み-34-10)/三浦しをん著	913.6 M
50	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年/村上春樹著	913.6 M
50	海賊とよばれた男 上/百田尚樹著	913.6 H 1
50	ロスジェネの逆襲/池井戸潤著	913.6 I
50	漢書/後漢書/三国志列伝選(中国古典文学大系: 第13巻)/本田清編訳	928 C 13

本学は大きな大学ではありませんが、人文・社会科学から自然科学まで、様々な学部、学科があります。そのため、専門分野の図書がベストリーダーの上位になることが難しい状況です。

そんな中で、若者に人気の小説のタイトルに混じって、近年上位に堂々ランクインしているのが『蒙求』。文学部日本・中国文学科の授業で使われているためです。

他にも、ベスト10入りとはいきませんが、リストの中には人気の小説に混じって、いろんな分野の専門書、入門書のタイトルが見られます。

試験が終われば春休み。卒業、修了予定の方は、学業の総仕上げ後は新しい生活への準備。気分転換にまだ自分が読んでいない本を手にとってみませんか？

表2 2012年度

順位	タイトル/著者
1	舟を編む/三浦しをん著
2	県庁おもてなし課/有川浩著
3	三匹のおっさんふたたび/有川浩著
3	総則・物権総論 第4版(民法:1)/内田貴著
5	総則・物権 第6版(別冊ジュリスト:no.195. 民法判例百選:1)/
6	左京区七夕通東入/滝羽麻子著
6	ナミヤ雑貨店の奇蹟/東野圭吾著
8	阪急電車/有川浩著
8	神様のカルテ2/夏川草介著
10	偉大なる、しゅららぼん/万城目学著
11	図書館戦争/有川浩著/徒花スクモイラスト
11	謎解きはディナーのあとで/東川篤哉著
11	ラブ・ケミストリー/喜多喜久著
14	探偵ガリレオ(文春文庫:[ひ-13-2])/東野圭吾著
14	往復書簡/湊かなえ著
14	葉子さんと奇妙な客人たち(メディアワークス文庫:0078. ビブリア古書堂の事件手帖:[1])/三上延[著]
17	恋文の技術/森見登美彦著
18	聖女の救済/東野圭吾著
18	ペンギン・ハイウェイ/森見登美彦著
18	食堂かたつむり(ポプラ文庫:お5-1)/小川糸著
18	四畳半王国見聞録/森見登美彦著
18	PK/伊坂幸太郎
23	左京区恋月橋渡ル/瀧羽麻子著
24	ジャック・ローラー:ある非行少年自身の物語/クリフォードR.シヨウ著/玉井眞理子, 池田寛訳
24	吸光・蛍光分析(分析化学実技シリーズ:機器分析編:1)/井村久則[ほか]著/日本分析化学会編
26	1Q84(ichi-kew-hachi-yon): a novel book 1/村上春樹著
27	御伽草子(日本古典文学大系:38)/市古貞次校注
28	手塚貴晴+手塚由比建築カタログ/手塚貴晴, 手塚由比著
28	公共政策学とは何か(BASIC 公共政策学:1)/足立幸男著
30	はじめて学ぶアメリカ文学史(シリーズ:はじめて学ぶ文学史:2)/板橋好枝, 高田賢一編著

表3 2011年度

順位	タイトル/著者
1	神様のカルテ/夏川草介著
2	クジラの彼/有川浩著
3	KAGEROU/齋藤智裕著
4	植物図鑑/有川浩著
4	謎解きはディナーのあとで/東川篤哉著
6	蒙求 上(新釈漢文大系:58, 59)/[後晋・李瀚原著]/早川光三郎著
7	蒙求 下(新釈漢文大系:58, 59)/[後晋・李瀚原著]/早川光三郎著
8	阪急電車/有川浩著
9	八日目の蟬/角田光代著
10	ラブ・ケミストリー/喜多喜久著
11	プリンセス・トヨトミ/万城目学著
12	独検合格単語+熟語1800 改訂版/在間進, 亀ヶ谷昌秀共著
13	日本中世社会の形成と王権/上島亨著
13	勝手にふるえてろ/綿矢りさ著
15	まほろ駅前多田便利軒/三浦しをん著
16	ガリレオの苦悩/東野圭吾著
16	バイバイ、ブラックバード(Postal novel)/伊坂幸太郎著
16	月と蟹/道尾秀介著
16	きことわ/朝吹真理子著
20	青山万華鏡/森見登美彦著
20	大学生のためのレポート・論文術 新版(講談社現代新書:2021)/小笠原喜康著
20	神様のカルテ2/夏川草介著
23	鴨川ホルモー/万城目学著
23	天地明察/冲方丁著
25	図解遺伝子クローニングとDNA解析/T.A. Brown 著/箕輪明子, 渡辺由美子共訳
26	告白/湊かなえ著
26	1Q84(ichi-kew-hachi-yon): a novel book 1/村上春樹著
26	内定率100%!先輩たちの「就活ノート」/加藤清紀著
26	下町ロケット/池井戸潤著
26	ノルウェイの森 上/村上春樹著

注意: 表1~3とも 順位欄が黒に白文字は、学生希望図書。

(学生希望図書としてリクエストされたものでも、図書館費で購入したり、寄贈を受けたものは、このリストでは学生希望図書になっていません。)

新図書館・文学部・新総合資料館合築棟（仮称）整備に伴う 新図書館の管理運営について

合築棟整備に伴う新図書館管理運営面の検討状況について報告します。

平成25年度（第1回）附属図書館運営委員会が昨年7月に開催されました。

この図書館運営委員会において、本学附属図書館の基本的な役割・機能として、第一に「本学学生・教職員への学習・学術研究支援」があること、併せて地域貢献としての府民利用者への図書館サービスの拡充や、3大学連携推進として関係学生・教職員へのサービスの向上について充実・支援が確認され、これらの基本的視点を踏まえた上で新図書館の管理運営等を検討していくこと（＝検討の方向性）を確認しました。

具体的には、あらたな土日開館や、府民貸出等について、諸課題の検討を進めていくこととなりますが、本学試験期間中の貸出制限など、学生や本学関係者にとっての利便性も考慮する必要があります。

また、研究個室や、グループ学習室の利用等についても本学構成員に限定しつつ、その具体的な活用方法について今後検討を進めていくこととなります。

引き続き、図書館運営委員会での議論や、検討の方向性を確認しながら、利用者への更なるサービス向上に向けて、大学図書館としての機能を維持・充実させていくための検討を進めていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

カレンダー

開館時間

9:00～ 21:00	9:00～ 17:00	休館 土日祝 年末年始
----------------	----------------	-------------------

☆閉館時の図書の返却は、図書館西側（喫煙コーナー付近）の返却ポストをご利用ください。

2014年2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

- ★2/3(月)～ 春休み長期貸出開始
◆貸出冊数12冊◆
返却予定日 在学生 4/8(火)
卒業・修了予定者 2/28(金)
- ★2/17(月)～4/7(月)
春季休業のため17:00閉館

2014年3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- ★3/20(木)～3/31(月)
蔵書整理のため、2階閲覧室休室。
貸出・閲覧・照会等の業務は休止。
3階各室の利用は可（学内者のみ）。